

沖縄県高等学校定時制通信制夏季体育大会実施基準要項

1. 主 旨

沖縄県高等学校定時制通信制夏季体育大会は高等学校教育の一環として、高等学校生徒に広くスポーツ実践の機会を与え、技能向上とスポーツ精神の高揚を図り、心身共に健全な高等学校生徒を育成すると共に、高等学校生徒相互の親睦を図ることによって、本県体育・スポーツ振興に寄与する

2. 名 称

令和6年度沖縄県高等学校定時制通信制夏季体育大会
兼全国高等学校定時制通信制体育大会県予選

3. 主 催

沖縄県高等学校体育連盟・沖縄県教育委員会

4. 後 援

(公財) 沖縄県スポーツ協会 会場地市町村・会場地市町村教育委員会・琉球新報社

5. 協 賛

NHK沖縄放送局・沖縄タイムス社・株式会社ラジオ沖縄・沖縄テレビ放送株式会社
琉球放送株式会社・琉球朝日放送株式会社

6. 主 管

沖縄県高等学校体育連盟競技種目別専門部・沖縄県各競技種目別競技団体

7. 大会役員

別紙「大会役員編成基準表」に基づき編成する。

8. 時 期

6月上旬に実施することを原則とする。

9. 会 場

別に定める。

10. 実施競技種目（10競技）

バレーボール・バスケットボール・卓球・ソフトテニス・サッカー・バドミントン・剣道・柔道
軟式野球・陸上競技

11. 大会参加者

- (1) 沖縄県高等学校体育連盟に加盟している高等学校生徒であること。
- (2) 当該種目の全国高等学校定時制通信制体育大会要項に定める資格の該当者であること。
- (3) 同一競技に3年制課程の場合は3回、4年制課程の場合は4回出場することができる。
但し学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の場合は、同一競技3回限りとする。
- (4) 出場する選手は予め健康診断を受け、在学する学校長の出場認知書を必要とする。

- (5) 転校・転籍後6ヶ月未満（水泳は1年）の者は参加を認めない。但し、一家転住等やむを得ない場合は、所属高等学校長の申請により、県高体連会長の認可があればその限りでない。
- (6) 上記の条件に違反した場合、または高等学校生徒としての品位を欠いた場合等には出場を取り消すことができる。
- (7) 同一選手が2競技にまたがって出場することはできない。但し、当分の間、日常継続的に責任ある顧問教員の指導がなされ、競技において安全が確保することができる校長が認める場合はその限りでない。

12. 引率・監督について

- (1) 引率責任者は、団体の場合は校長の認める当該校の職員とする。個人の場合は校長の認める学校の職員とする。また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」(学校教育法施行規則第78条の2に示された者)も可とする。但し、「部活動指導員」に引率を委嘱する校長は、沖縄県高等学校体育連盟会長に事前に届け出る。
- (2) 監督、コーチ等は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は高体連に登録するとともに、傷害・賠償責任保険（スポーツ安全保険等）に必ず加入することを条件とする。

13. 大会参加申し込み

- (1) 参加者は選手団を編成し、所定の参加申し込み用紙に必要事項を記入し申し込むこと。
- (2) 各競技とも2部ずつ作成し、学校ごとにまとめて期日までに申し込むこと。電話による申し込みや締切日時以後は受け付けない。
- (3) 申込先 沖縄県高等学校体育連盟事務局
(那覇市奥武山町51-2 沖縄県体協スポーツ会館303号室)
沖縄県高等学校体育連盟 会長 宛

14. 大会参加費

参加申込生徒一人当たり300円とし、参加申込書に記載された選手数（マネージャー、補助員等は除く）を乗じた額とする。

15. 競技規則

各競技種目の競技規則による。

16. 組み合わせ抽選

競技種目別要項により、原則として、競技種目別専門委員会で決定する。

17. 表彰

各競技とも団体3位、個人3位まで表彰することができる。

18. 備考

- (1) 個人情報保護については「沖縄県高体連個人情報保護方針」に従って取り扱います。
- (2) 大会中の疾病、傷害等は、主催者で応急処置を行うが、それ以上の責任は負わない。